

平成23年度 泉苑 事業計画概要

【前年度の概況】

- 組織・運営**
組織的な運営に対する意識は向上、会議等の効果的な運営にも務めた。家族支援システムは、負担軽減には至らなかったが、その目的を意識し、とりくんだ。
センターの稼働が低迷、ホームも後半、入院、永眠が続く、減収となり、次年度の課題となった
- 職員確保・育成**
目標に沿って実施したが、職員のスキル・価値観の格差拡大の現状
- サービス向上**
取り組み意識は高く、排泄等各研究会の個別ケアへの取り組みから生み出した時間を余暇活動や環境整備に充て、生活の充実に努めた
- リスク管理**
目標に沿って実施し、事故、感染症発生もなく、大きな苦情にも至らず落ち着いた1年を過ごせた
- 建物管理**
大規模修繕・耐震化工事の協議書の準備および提出に取り組んだ
- 地域**
目標に沿って遂行した。増加する緊急ケースに柔軟に対応。泉苑全事業で包括からの緊急対応に即応。法人のミッションの実践を通し、学びや現場のやりがいを実感した
- 防災・防犯対策**
訓練が形式化、非常時に対応できる効果的訓練の実施が課題

【前年度目標・課題】

- 組織・運営**
事業毎の責任体制の明確化と総合力強化によって、地域サービス拠点の役割の遂行。家族支援システムの稼働推進と、法令遵守体制、記録の充実と負担軽減
- 職員確保・育成**
働きやすい労働環境と職員関係の構築。研修の充実とスキルアップ。
- サービス向上**
法人理念、指針を職員一人ひとりが意識し、利用者の思いを尊重した個別ケア、残存能力を尊重した自立支援、安全で穏かな生活環境の提供、緊急事態への適切な対応、ターミナル期の過ごし方の模索、実践。
- リスク管理**
蓄積された防止策、対応策の徹底と新人職員への啓蒙、啓発。不注意リスクの解消。望まれる生活と予測されるリスクへの方針の確認。
- 建物管理**
大規模修繕・耐震化工事の準備と安全な遂行と完了後のメンテナンス体制の整備
- 地域**
地域包括支援センターの基本業務の確実な遂行、地域ネットワークの要としての役割を果たす
- 防災・防犯対策**
日ごろの訓練を通し、いざという時の動きを身につける

【新年度重点目標】

- 事業計画表に沿った、着実な事業運営と法令遵守
- 安全な大規模改修および耐震化工事の実施
- 組織的な事業運営
①組織及び会議図に沿った提案、議論、決定の流れの確立
②総合力の強化による効率的運営
- サービスセンターの事業継続
地域からの期待に応えられる泉苑の特性の見直し、通所・入浴・送迎・推進担当の一体的業務体制の構築
- 継続的な取り組みの一層の充実
①個別性の重視(ケア・生活両面)
②福祉機器の効果的な活用
③死生観についてご家族も巻き込んだ学びと議論
④地域を支える施設としての日々の実践(包括を入りに施設全体で)
⑤適切なリスク管理
⑥職員のスキルアップ、実践研修の充実と契約・非常勤職員研修
- 有効な防災訓練の実施と防災意識の確立
- 施設環境への意識化と計画的な環境整備の取り組み

【施設管理運営目標】

- 収入の確保と収支バランスの追及
- 適正配置及び配置職員の検討と見直し
- 大規模改修・耐震化工事の安全な実施
- 事故・感染症の防止、要望段階での適切な対応と苦情にならない努力
- 施設の全事業・全職員による総合力のアップ
- 残業の解消(業務の優先順位・分担の見直し・勤務時間内の効率化)
- 職員集団の社会人としてのモラルの再構築
- 利用料の未払いに対する積極的な解消システムの構築

【施設内共通支援目標】

- 事業計画表に沿った確実な事業運営
- 個別性の重視
- 目的やプロセスを共有化できる議論の場としての会議の工夫や充実への取り組み
- 業務の効率化、時間の有効活用、業務点検、分担の見直し
- 記録のスキルアップと家族支援システムの円滑稼働の取り組み
- 連携強化

【法人本部】

- 職員の育成
①福祉職のプロを育成する
②未来につながる中堅層の意図的育成
- サービス向上
①法人としてのサービスの平準化
②地域拠点としての施設機能強化
③家族支援システムの定着
- 業務管理体制推進
①適正な人員配置に基づく組織づくり
②それぞれが責任をもった管理体制の徹底
- 施設基盤の整備
制度改革がすすむの中で社会福祉法人としての基盤強化する。
2000年以降新たな環境を乗り越えるために
第1期 課題整理と基本的対応(～2004年)
第2期 具体的な体制整備(2005年～2010年)
法人全体でとりくんできた2011年からの当面3か年を第3期と位置づけ第2期の取り組みを定着、浸透させる

| 滞在系 | | 通所系 | | 連携 | | 訪問・在宅支援系 | | 事務 |
|--|---------------------------------|--------------------------|------------------------------|------------------------------------|--|---|--|--|
| ホーム(特養) | 短期入所 | 通所介護(予防・一般・認知) | 自治体・福祉 | 食事 | 看護・機能訓練 | 包括支援 | 居宅支援 | 会計・庶務・事務 |
| 1. 工事中の安全で快適な生活の継続 | 1. 利用者・家族のニーズの柔軟な対応 | 1. 実績の安定と増加 | 1. 市の仕様書に準拠したサービス実施 | 1. 利用者の状態を配慮した安全で美味しく、食べやすい食事の提供 | 【看護】 1. 利用者・職員の健康管理 2. 緊急時及び看取りのケアの充実 3. 感染症の予防と適切な対策 4. 業務の円滑な遂行の為に医務室の情報共有と分担・個々のスキルアップ | 1. 総合相談窓口としての機能強化の取り組み | 1. 法令遵守の意識の向上の取り組み | 1. 法令・規程に沿って、勤怠・契約・経理業務を確実な遂行 2. 業務の省力化・効率化を意識し、計画表に沿った業務遂行と情報共有方法の検討 3. 文書管理について、効果的なファイリング方法を検討と整理 4. 改修工事に関する事務的業務の分担と協力 5. 平成24年度の改正の新会計基準や介護保険制度(報酬)についての情報収集と理解に務め、スムーズな移行を目指す |
| 2. 各研究会の個別ケアの取り組みの一層の推進と個別ニーズの調整、適切なケアプラン作成と実施 | 2. 空床ベットの資源としての有効活用 | 2. 法令に基づいたサービス提供 | 2. 通所チームの協力体制の強化 | 2. 利用者の食事・栄養を通しての健康管理 | 【訓練】 1. 事業計画の確実な遂行 2. 部署内、関係部署との情報共有 3. 部署内、関係部署の業務連携と協力 4. 専門職としてのスキルアップ 5. チームの業務分担の見直し | 2. 関係機関・泉苑内各部署との連携を強化し、協力体制のもとで適切な支援につなげる | 2. 居宅介護支援事業所運営の適正化の取り組み | |
| 3. 個別性(心身状況、嗜好、生活歴等)尊重した余暇活動の提供、適切な日常生活費の執行 | 3. 緊急受入時の関係部署との連携強化 | 3. 職員育成・介護及び支援スキルの向上 | 3. 包括支援センターとの連携(地域の把握と適切な対応) | 3. 真空調理・計画生産技術の定着と新調理システムの展開 | | 3. 地域におけるネットワークの構築 | 3. 職員のスキルアップとケアマネジメント力を向上し、地域から信頼される事業所として、地域高齢者を支える | |
| 4. 利用者の安全、安楽・職員の健康管理を目的とした福祉機器導入への職員の意識統一と具体的な取り組み | 4. 工事中の安全で快適なサービス提供と受入れの適切な情報提供 | 4. 質・満足度の高い安全・安心なサービスの提供 | | 4. 専門スキルの向上と円滑な関係構築の為にコミュニケーション力育成 | | 4. 介護予防普及啓発と地域包括支援センター泉苑の広報活動に努める | 4. 時間管理、業務の効率化を図る | |
| 5. 家族支援システムの早期円滑稼働による記録の充実と法令遵守 | 5. 利用中の過ごし方の充実(継続) | 5. 事業所内の連携強化による効率的な業務遂行 | | 5. 連絡会を軸に法人食事係としての取り組みと連携 | | 5. 住みなれた地域で自立した生活を送っていただく為の適切な予防プラン作成 | 5. 府中市包括支援センター泉苑との協働、連携体制を強化する | |
| 6. ホームの暮らしや支援の考え方の確認、整理、ご家族との共通理解(入所のしおり作成や便りの継続) | | 6. 衛生的な環境整備 | | | | 6. 増加する困難・複合ケースの支援のための、職員個々のソーシャルワーク力・解決力の強化と連携 | | |